

第 97 回薬剤師国家試験過去問題集(演習型解説書) 訂正表 (第 1 刷)

2019 年 7 月 31 日現在

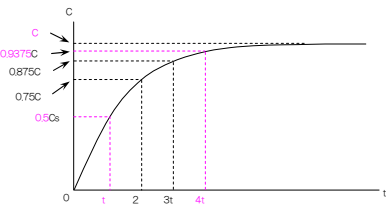
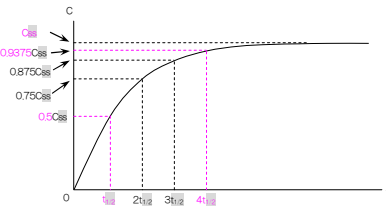
誠に申し訳ございませんが、以下の箇所の訂正をお願い申し上げます。

◇必須問題◇

ページ	問番号	箇所	訂正前	訂正後
53	問 48	解説 2 行目	L を膜の厚さ	h を膜の厚さ

◇理論問題◇

ページ	問番号	箇所	訂正前	訂正後
182	問 136	解答	1・3	解なし
		解説 1	○	×
		解説 1 2 行目	そのうち Cl を含み、H を含まないものを特定フロンといい、H を含むものを代替フロンという。代替フロンには、ハイドロフルオロカーボン (HFC) とハイドロクロロフルオロカーボン (HCFC) がある。	さらに、先進国で 2020 年をもって生産・消費が全廃されることとなっているハイドロクロロフルオロカーボン (HCFC) は、特定フロンへと移行した。特定フロンには、H を含まないクロロフルオロカーボン (CFC) や H を含むハイドロクロロフルオロカーボン (HCFC) がある。代替フロンには、ハイドロフルオロカーボン (HFC) がある。
		解説 3	○	×
		解説 3 1 行目	1995 年をもって特定フロンは全廃され、開発途上国でも 2010 年をもって全廃された。一方、代替フロンとして、オゾン層	1995 年をもってクロロフルオロカーボン (CFC) は全廃され、開発途上国でも 2010 年をもって全廃された。一方、オゾン層
183	関連 問題	問題 4 解説	代替フロンであるハイドロクロロフルオロカーボン (HCFC) は、分子内に塩素原子を含むため、特定フロンに比べ弱いながらもオゾン層破壊を起こす。	特定フロンであるハイドロクロロフルオロカーボン (HCFC) は、分子内に塩素原子を含むため、クロロフルオロカーボン (CFC) に比べ弱いながらもオゾン層破壊を起こす。
		問題 8 解説 3 行目	代替フロンのウ (CHF_2Cl)	特定フロンのウ (CHF_2Cl)

184	Exercise	8行目	代替フロンである (⑥ 特定フロンよりは弱い ・ ない)	特定フロンである (⑥ クロロフルオロカーボン(CFC)よりは弱い ・ ない)
		解答⑥	特定フロンよりは弱い	クロロフルオロカーボン (CFC) より は弱い
215	Exercise 4	問題	$\alpha 1 \cdot \beta$ 遮断薬 喘息患者に、 (⑫ 禁忌 or 慎重投与)	$\alpha 1 \cdot \beta$ 遮断薬 喘息患者に、 (⑮ 禁忌 or 慎重投与)
		解答	解答なし	⑮ 禁忌
249	問 172	解説文 2行目	～ (ke : 消失速度定数)	～ (ke : 消失速度定数)
250	関連 問題	グラフ		
251	関連 問題	解説文 3行目	グラフの傾きより～	グラフより～

◇実践問題◇

ページ	問番号	箇所	訂正前	訂正後
331	問 222	解答 解説	3 記述通り。～である。 4 番解説の掲載抜け	3 ○: イマチニブは妊婦に禁忌である。 4 ×: イマチニブは消化管吸収が良く、イマチニブの用法は、食後である。
488	問 333	解説 3 2行目	ナトリウム摂取量は、600 mg を上限	ナトリウム摂取量は、約 2400 mg を 上限